

急性腰痛

患者様情報

来院されるまでの症状

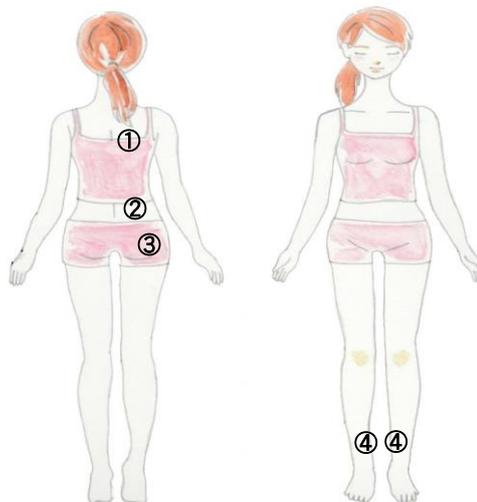
- ・最初は右足首内側の痛みから始まり、来院される前の週から腰痛がひどくなったとのことでした。
- ・立ったり、座ったりなどの動作で右腰に痛みが出るとのことです。
- ・隔週でテニスとウォーキングをされており、日頃から身体は動かす習慣があります。
- ・腰痛が発症するとテニスもウォーキングもお休みせざるを得ない状態です。
- ・さらに、夜になると蕁麻疹が出てしまうようで、市販薬の塗り薬で対応しているようです。

患者様	70代 女性
初診	2022年10月27日
既往症	正中神経麻痺(左手)
他の症状	蕁麻疹

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・手足の冷えが特にひどい状態でした。ご本人も自覚されており冷えが増すと腰痛もひどくなるとおっしゃっていました。
- ・右の腰痛が主訴ではありますが、全体的に診てみると右肩甲骨「膏肓」から強く張りがありました。
- ・右腰だけではなく、右肩から臀部にかけて右側の張りが強い為、最初は浅く広範囲に緩めるような優しい鍼をいたしました。
- ・冷えも改善したいので「三陰交」にお灸を据えました。



使用した主要なツボ

- ①膏肓（コウコウ） ②志室（シシツ）
③臀部圧痛点（デンブ）④三陰交（サンインコウ）

■ 初診後の経過

- ・右側を腰だけでなく広範囲に緩めるように鍼をしたため前回よりも、より悪いところがはっきりし鍼も刺入しやすくなっているような感じでした。
- ・ご本人も鍼後、スムーズに立ち上がることができ、鍼を続けて通うことによりテニスとウォーキングにもお休みすることなく参加できるようになったとおっしゃって頂きました。
- ・毎回鍼後は、身体が温かくなるようで、喜んでいただけました。ご自身でもホットアイロなど貼るなどして冷えにも気を付けていただいています。
- ・蕁麻疹はまだ出てしまっているようなので引き続き痒みに効くお灸など、ご本人と原因を追究していこうと思っております。

■ ひとつと添えさせていただきます

- ・経絡治療はその部分が悪いからといって、そこ部分のみを注視致しません。全身治療になりますので全体的に身体を何回か診させていただき原因を追究し、身体の本質治療を目指します。
- ・そうすることにより、その部分だけが悪いのではなく他の部分も悪かったと患者さんと共有ができます。
- ・今はお身体の状態もよくなり毎週の運動にも参加できているようです。
- ・今後も患者さんと鍼とお灸を通して、お身体の状態を共有していき、日々健やかに生活できるようにお手伝いさせていただけたらと思います。